

# 質の高い幼児教育・保育とは！？

—冬の如く、厳しさに耐える強さを養う—

《子どもたちが楽しい、面白いと思う園庭を希う！》

園長 山崎立哉

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。昨年新園舎へ移り、子どもたちは真新しい保育室で快適に過ごしています。戸外では、広い園庭を思いっきり走り回って遊んでいます。今年度その園庭整備を3月までにと計画していましたが、計画の練り直しや予算等の理由で今年度中では整備が完了することが出来なく、来年度以降まで伸びることになりました。保護者の皆様には園庭整備の遅滞をお詫び申し上げます。

園庭整備の計画では、現在の何も無い広い園庭に複合遊具、ブランコ、滑り台、雲梯等に移し、草花や木々を植え、砂遊び場や泥遊び場、高い処や水生生物の住むことが出来る池なども造りたいと考えています。

戸外遊びは、子ども達の身体の発達にとってとても重要な遊びで、毎日欠かせない遊びです。歩く、走る、跳ぶ、蹴る、投げるといった基本的運動能力はもちろんのこと、ブランコをぶったり、滑り台をすべったり、鉄棒で回ったり、高い処に登ったり、泥や砂遊びで土や砂に触れたり、どんぐり拾いや落ち葉拾い、ダンゴ虫、バッタ、カマキリ等の虫捕りをしたりと、戸外遊びならではの様々な遊びを体験してほしいと願っています。

特に幼児期は戸外で自由に身体を動かすことによって運動能力が発達します。思春期以降のトレーニングや訓練等によって運動機能を強化、発達させることと全く違い、戸外で様々な遊びをすることによって高まってきます。

また、幼児期の子どもは、身体運動的な自己概念形成の時期と云われ、運動場面での有能感、やればできるという運動有能感が肯定的な自己概念の形成に大きな役割を果たすと云われています。多くの「やった！」「できた！」という成功・達成感の積み重ねが、子ども達に自信を与え、運動以外の様々な活動にも積極的に取り組む姿勢を育てます。

幼児教育は「環境を通して行う教育」が基本にあります。園舎はもちろんのこと、子どもたちが毎日戸外で遊び「楽しい！面白い！」と思う園庭の環境を整備したいと希っています。保護者の皆様今しばらくお待ちください。